

## 令和4年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

### 1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
宮城県	加美町	加美町ムラサキ6次産業化協議会	●	●	□	A	<p>令和3年度事業で、東北医科薬科大学との共同研究によりムラサキ(紫根)に含まれている有効成分“アセチルシコニン”を検査し、アセチルシコニンは「抗炎症作用、抗インフルエンザ作用」があることが判明したことにより、紫根から高濃度・高効率でのアセチルシコニンの抽出方法を確立し、加美町6次産業化協議会として特許を申請している。</p> <p>さらに抽出したムラサキエキスを利用して、化粧品や衛生用品の試作品を作製し、成分や実際の使用感を調査し、機能性よ有する染料としてのムラサキ染の試験を実施した。</p> <p>令和4年度事業でこれまでの研究の継続で新機能性素材の開発を目指し、新規ムラサキ抽出エキスの安全性試験を行い、あおり藍エキスとの併用による抗インフルエンザウイルス不織布加工とその評価を行い、衣類、雑貨、その他種々品への応用の可能性について試作した。また、製品化に向けたロゴマークデザインの制作にも取り組んだ。</p> <p>令和4年度事業でおこなった研究事業は、今後の山間部の振興に繋がるが大いに期待できる成果があった。</p>

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

### 3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である加美町農業委員会 会長 板垣文一氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

#### 【第三者】

加美町農業委員会 会長 板垣 文一

#### 【意見聴取の概要】

ムラサキの持つ有効成分を研究し、効率的抽出方法を開発できた事は、ムラサキの生産活動において農山漁村地域での農業者所得向上に繋がる可能性が大いにあります。さらに、加美町笑顔幸福プランを掲げた中の3大重点プロジェクトの一つ「里山経済の確立」で、人・物・金を循環流入する町づくりを実現向上に推進している一つとして、薬用植物の産地化に繋げ地域経済の発展に期待することができる。